

**高橋 裕丈**

**差出人:** 大阪市市民局ダイバーシティ推進室人権企画課  
**送信日時:** 2021年3月10日水曜日 17:01  
**CC:** 森 浩一; 高橋 裕丈; 柏田 武志; 米田 博匡  
**件名:** 職員の皆様へ シトラスリボンプロジェクトの取組についてご紹介～シトラスリボンをつくってみましょう～  
**添付ファイル:** 職員向けチラシ シトラスリボンプロジェクト.docx

職員の皆様へ

件名について、本市では、新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見をなくす取組である「シトラスリボンプロジェクト」の趣旨に賛同して、全庁的に取り組むこととし、2月19日に健康局と市民局の連名で報道発表するとともに、大阪市人権行政推進本部員（各所属長）あて、取組を依頼したところです。

既に取り組の輪をひろげていただいている所属もあると伺っておりますが、本メールに添付のチラシにて、リボンの作成例、活用方法などをご紹介しますいただきます。

職員の皆様には、シトラスリボン作成に係る趣旨をご理解いただき、可能な範囲でお取り組みをいただきますようお願いいたします。

問い合わせ：

健康局 保健所感染症対策課【米田】

電話：6647-0739 FAX：6647-1029

市民局 ダイバーシティ推進室人権企画課【高橋、森（賀）】

電話：6208-7611 FAX：6202-7073

大阪市は、シトラスリボンプロジェクトに賛同しています



Citrus Ribbon  
PROJECT

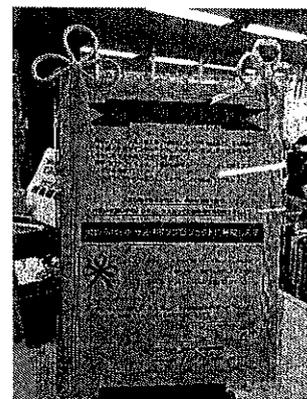
●シトラスリボンプロジェクトとは… <https://citrus-ribbon.com/>

「シトラスリボンプロジェクト」は、新型コロナウイルス禍で生まれた差別や偏見に対し、愛媛県内の有志の方々により、特産の柑橘にちなみ、シトラス色のリボンや専用ロゴを身につけて、地域と家庭と職場などで、「ただいま」「おかえり」と言いあえるまちをめざす取組として始まった運動です。

現在、全国的に多くの事業者や行政機関等が賛意を示し、差別や偏見をなくす取組として広がりつつあり、大阪市も、同プロジェクトの趣旨に賛同し、全庁的に取り組むことを2月19日に報道発表しています。

●シトラスリボンプロジェクトの輪をみんなで広げましょう

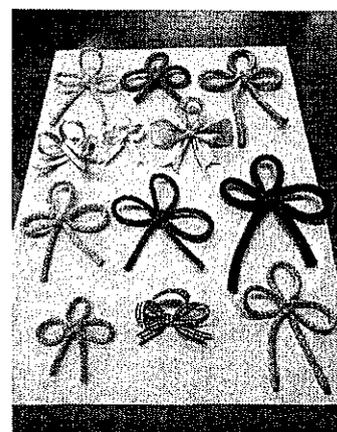
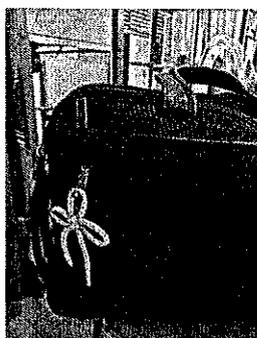
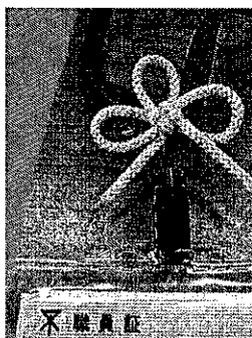
皆さんには、このプロジェクトの趣旨をご理解いただき、新型コロナウイルス感染症に関する差別やいじめを許さない意思表示として、リボンの自主作成・着用、職場での掲示などに取り組んでいただきますようお願いいたします。



↑ 事務室での掲示例

●シトラスリボンの作り方… <https://citrus-ribbon.com/>

- ① 柑橘をイメージした色（シトラス色※）の紐やリボンを準備します。  
※…黄・緑・橙など。リボンの色や素材、大きさの指定はありません。
- ② 三つの輪は、「地域・家庭・職場（or 学校）など」を示します。
- ③ 結び方は、「叶結び」「几帳結び」「総角結び」などと呼ばれるものを参考にしてください。
- ④ 出来上がった「シトラスリボン」を名札、カバンなどに付けます。



結び方は、複雑に見えますが、3回くらいチャレンジすると作れたという声、型崩れを防ぐため、裏面に木工用ボンドを塗布すると良いという声があります。